



# 平成 29 年度 水稲生育診断情報 No.5

(平成 29 年 8 月 21 日)

(情報作成) 滋賀県農業技術振興センター

近江八幡市安土町大中 516 (TEL:0748-46-4391)

(今年度最終情報です)

## 現在の生育状況

◎各品種とも出穂期は平年より早く、出穂のばらつきが大きい。成熟期は平年より数日早く、前年並になる見込み。

(農技センター5月10日移植「秋の詩」の出穂期は8月6日で平年より6日早い。)

## 管理のポイント

### 【適期収穫】

◎籾黄化率 85～90%の時期に収穫する。

◎本年は出穂のばらつきが大きく、成熟期の見極めが難しいため、葉色に惑わされず、穂(籾)色をしっかりと確認し、刈り遅れによる品質低下に注意する。

### 【水管理】

◎収穫5日前まで落水しない。

◎中生・晩生品種では今後も十分な水が必要なので、こまめな水管理を行う。

☆「みずかがみ」栽培だより=(P5)もご覧ください。

農業技術振興センターホームページの「みずかがみ」コーナーもご参照ください。

## 1 気象の経過と予報

(1) 気象の経過 (彦根気象台観測、平年は過去10年間の平均)

要素		最高気温	最低気温	日照時間	降水量
7月	全般	高い	高い	やや少ない	かなり多い
8月	上旬	やや低い	やや高い	かなり少ない	かなり多い
	中旬	かなり低い	やや低い	少ない	多い

(2) 近畿地方1か月予報【大阪管区気象台8月17日発表([http://www.jma.go.jp/jp/longfest/106\\_00.html](http://www.jma.go.jp/jp/longfest/106_00.html))】

■平年に比べ晴れの日が少ない見込み。

■向こう1か月の平均気温は、平年並または高い確率ともに40%。

■降水量は、平年並または多い確率ともに40%。

■日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%。

## 2 生育状況

【農業技術振興センター 水稲作況調査による。表1、表2および後掲グラフ参照。】

※「コシヒカリ」は7月30日、「秋の詩」は8月10日に生育調査を行った。

■草丈は、「コシヒカリ」、「秋の詩」とともに平年よりやや長かった。

- 茎数は、「コシヒカリ」では平年よりやや少なく、「秋の詩」では平年より少なかった。両品種とも無効分げつが多くなり、有効茎歩合は低かった。
- 出穂期は、「コシヒカリ」では7月25日で平年より4日早く、「秋の詩」では8月6日で平年より6日早かった。なお、両品種ともに出穂のばらつきが大きかった。



8月17日時点の「コシヒカリ」



8月17日時点の「秋の詩」

表1 平成29年(2017年) 水稻作況調査 生育調査結果

滋賀県農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

基準日 月/日	品種名	草丈(cm)				茎数(本/m <sup>2</sup> )				葉色(SPAD値)				主稈葉数(枚)			
		本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	比	前年	本年	平年	較差	前年
7/30	コシヒカリ	116.4	110.1	106	110.6	484	502	96	502	39.2	37.1	106	36.8	13.0	13.1	-0.1	13.2
	秋の詩	97.4	93.8	104	91.0	505	527	96	508	37.8	37.1	102	36.4	13.3	13.1	0.2	13.1
8/10	秋の詩	111.3	107.1	104	105.9	425	492	86	500	36.6	36.0	102	33.3	13.6	13.7	-0.1	14.0

移植日:5月10日(播種日:4月20日)、栽植密度:22.2株/m<sup>2</sup>、植付本数:4本/株

基肥:N成分3kg/10a、追肥:N成分2kg/10a(「コシヒカリ」6月10日、「秋の詩」6月20日施用)、穂肥:N成分2kg/10aを2回分施

表2 水稻作況調査 生育ステージ

滋賀県農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)

品種	生育ステージ	本年	平年	平年との較差	前年
コシヒカリ	幼穂形成期	7月2日	7月5日	3日早い	7月2日
	出穂期	7月25日	7月29日	4日早い	7月25日
	成熟期	未	8月31日	—	8月26日
秋の詩	幼穂形成期	7月11日	7月18日	7日早い	7月13日
	出穂期	8月6日	8月12日	6日早い	8月7日
	成熟期	未	9月19日	—	9月17日

栽培条件は表1と同様

### 3 今後の管理

#### (1) 適期収穫

- ほ場内で出穂のばらつきが大きいところは、葉の色が黄化していなくても、籾は先熟している場合があるので、収穫時期が近づいたらほ場に入り、穂(籾)色をしっかりと確認して収穫適期を見極める。
- 収穫適期は、穂の先端から3~4本目の枝梗につく籾が全て黄化した頃で、籾黄化率85~90%の時期である(目安は、籾黄化率50%程度で収穫7日前)。

- 出穂後の気温が高い年は登熟日数が短くなる傾向にあるので、早生品種（「コシヒカリ」等）だけでなく、中生品種（「秋の詩」等）でも、出穂後 30 日を過ぎたら収穫できるよう準備を整えておく。

★登熟日数の比較（作況試験データより）

年次 \ 品種名	コシヒカリ	秋の詩
昭和61年～平成15年	32～40日	—
<b>平成16年～28年</b>	<b>30～37日</b>	<b>34～42日</b>

【適期収穫のポイント】 ★葉色に惑わされず、ほ場に入って穂をしっかり確認する。

- 収穫適期の目安
- ① 上から 3～4 本目の枝梗につく籾が全て黄化した頃
  - ② 籾黄化率 85～90%

★収穫 7 日前の目安：籾黄化率 50% 程度 ・ ・ ・ 収穫適期判定板を活用

**適期収穫で割割粒を減らそう！**  
**収穫適期判定板**

使い方

- ほ場全体を見て、平均的な場所に入ります。
- 種に判定板(裏面)の色がついている部分をあてます。
- 黄色く熟した籾(モミ)の割合を見て収穫時期を判断します。(判定板の色は熟した籾の色目安です。)

特に8月～9月の気温が高くなった場合は要注意

※近年、出穂後(8月～9月)の気温が高く、登熟日数が短くなってきています(下の表参照)。  
※最も短い年は、「コシヒカリ」で30日、「日本晴」で32日、「秋の詩」で34日となりました(平成28年)。

年次	品種名	コシヒカリ	日本晴	秋の詩
平成3年～12年		37日 (34～40日)	41日 (34～48日)	—
平成13年～22年 (最近10年間)		33日 (30～37日)	38日 (32～40日)	39日 (34～44日)

近江米振興協会

(2) 適正な水管理

- 出穂期前後は、水稻の一生の中で最も多くの水を必要とする時期であり、水が不足すると稲が十分に光合成できず、白未熟粒の発生や籾の充実不足が助長されるため、出穂前後各 3 週間常時湛水管理を行う（図 1）。
- 落水時期の目安は収穫の 5 日前であるが、収穫作業に支障がない限り出来るだけ遅らせ、根や葉の活力を収穫直前まで維持させる（図 2）。

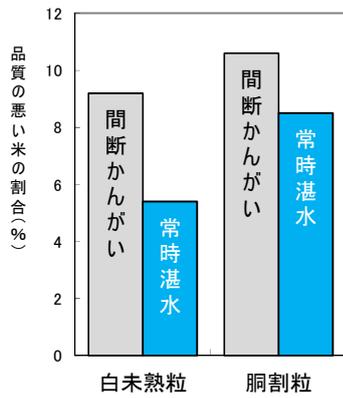


図1 出穂前後の水管理と白未熟粒、胴割粒との関係  
(滋賀農技セ 2006年「コシカリ」)



出穂前後の常時湛水で  
白未熟粒、胴割粒が減ります

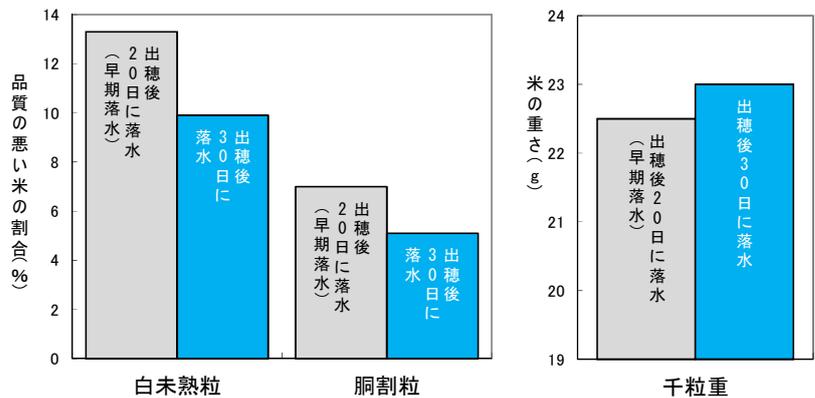


図2 落水時期と白未熟粒、胴割粒、千粒重(米の重さ)の関係  
(滋賀農試湖北分場2004年「コシカリ」)



収穫直前まで入水すると、白未熟粒、  
胴割粒が減り、収量も増加します

【参考サイト】

農業技術振興センター

<http://www.pref.shiga.lg.jp/g/nogyo/>

病虫害防除所

<http://www.pref.shiga.lg.jp/g/byogaichu/>

彦根地方气象台

<http://www.jma-net.go.jp/hikone/>

異常天候早期警戒情報

<http://www.jma.go.jp/jp/soukei/>



★5月上旬移植では8月18日頃から成熟期を迎えている！  
 ★出穂のばらつきが大きく、成熟期の見極めが難しいため、刈り遅れに注意が必要！

☆「みずかがみ」の生育状況

「みずかがみ」の成熟期(近江八幡市安土町大中)

移植日	成熟期				
	本年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
5月2日	8月18日	8月20日	8月26日	8月19日	8月18日
5月17日	8月26日(予想)	8月26日	8月29日	8月27日	8月26日

1)成熟期は、葉齢進展と過去の試験結果により予想。

2)移植日：平成25年は5月2日・15日、平成26年は5月2日・14日、平成27年は5月1日・15日。

☆今後の栽培管理対策

(1) 水管理

■品質向上のため、収穫5日前まで間断かんがいを実施する。

(2) 適期収穫～調製

■収穫は籾の黄化率(85～90%)を確認し、適期に実施する。特に、葉色が濃いほ場では、葉色に惑わされないよう、穂(籾)色をしっかりと確認する。

■米選作業は、1.85 mm以上の網目で実施する。

○「みずかがみ」の生育状況(8月17日時点)

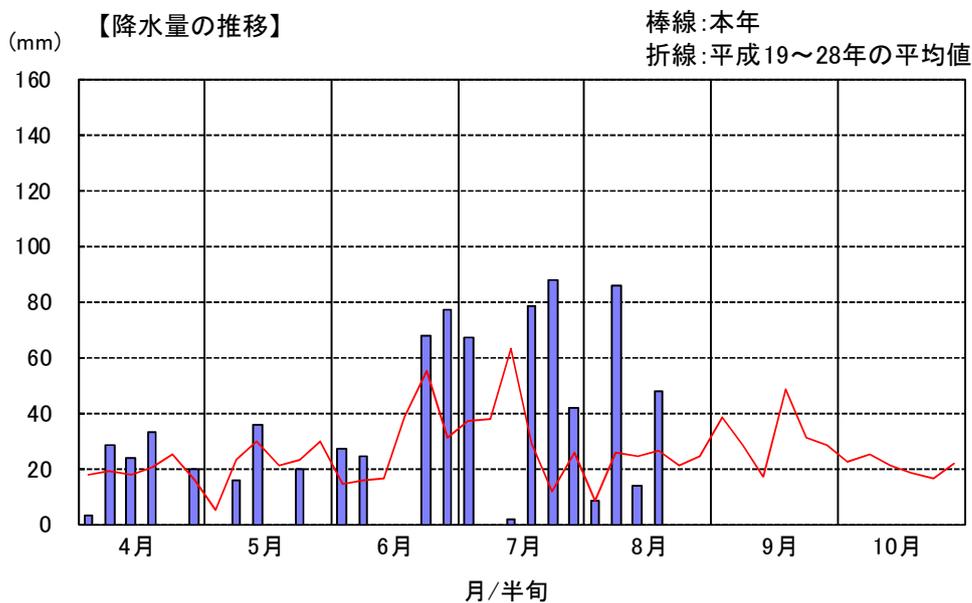
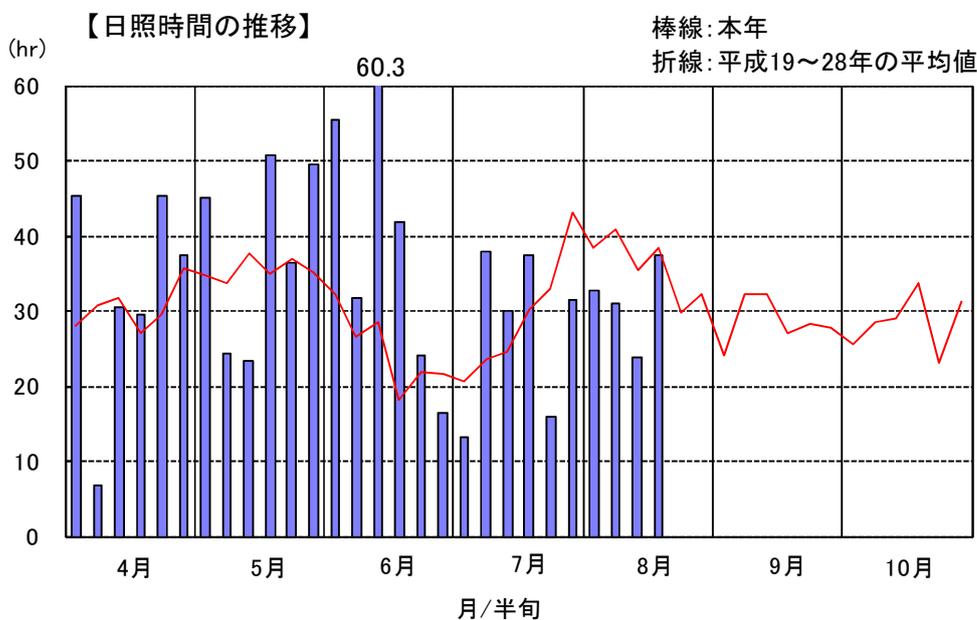
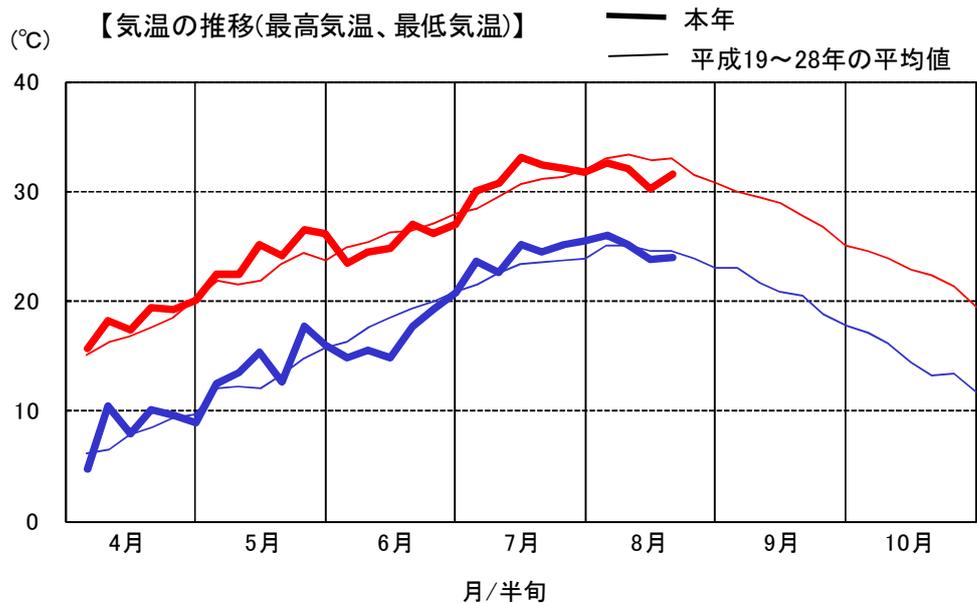


5月2日移植



5月17日移植

# 平成29年(2017年) 水稻作期間半旬別気象図(彦根気象台観測)

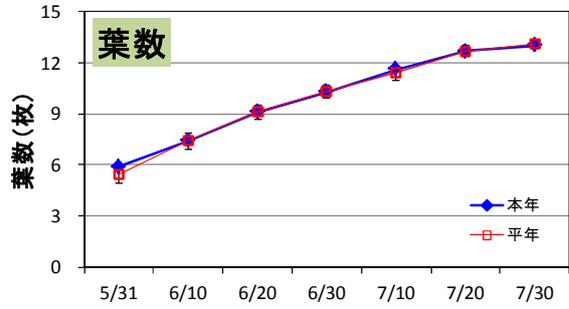
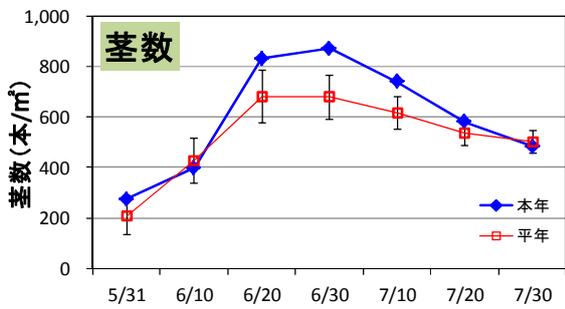
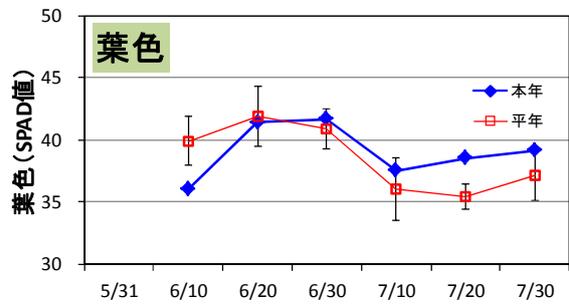
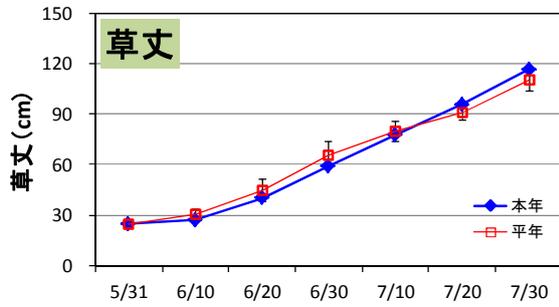


注) 平年は平成19~28年の平均値。 5月,7月,8月,10月の第6半旬の降水量および日照時間は6日間の合計値。

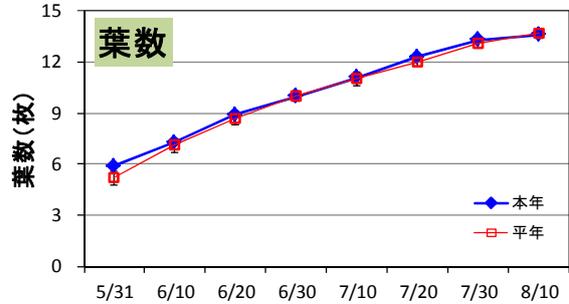
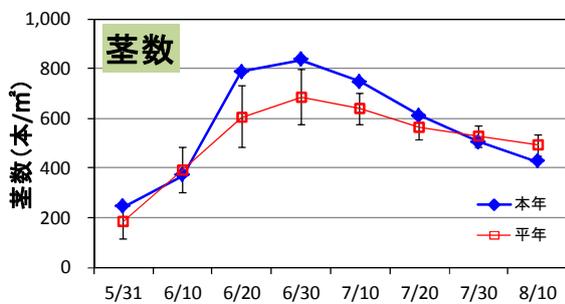
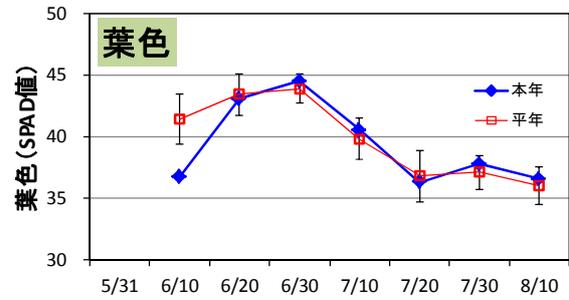
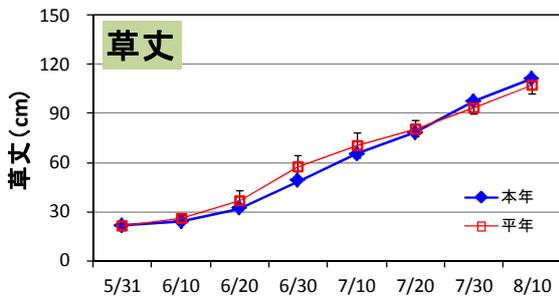
# 平成29年(2017年) 水稻作況調査 生育調査結果

農業技術振興センター(近江八幡市安土町大中)  
 移 植:5月10日(播種:4月20日)  
 栽植密度:22.2株/m<sup>2</sup>、植付本数:4本/株

## 「コシヒカリ」



## 「秋の詩」



注) 生育調査の平年は平成19~28年(10年間)の平均値。平年値のエラーバーは標準偏差。